

図版説明

図版1. *Mycosphaerella buna*および*Pseudocercospora* アナモルフ.

- A. 偽子のう殻, B. 子のう, C. 子のう胞子, D. 若い子座, E. 分生子,
F. 精子器, G. 分生子形成細胞(矢印)および分生子(二重矢印).
スケールバー : 10 μm .

図版2. *Mycosphaerella buna*および*Pseudocercospora* アナモルフ.

- A. 偽子のう殻, B. 子のう, C. 小油滴のある子のう胞子, D. 精子器,
E. 子座, F. 小油滴のある分生子, G. 菌糸から直接形成された分生子柄お
よび分生子.
スケールバー : A, D = 50 μm . B, E - G = 20 μm . C = 10 μm .

図版3. *Mycosphaerella buna*の培養コロニー : 暗黒下35日培養.

- A. PDA培地, B. MA培地, C. LCA培地.

図版4. *Ascochyta fagi*

- A. 分生子殻, B. 分生子殻内壁から形成されているるフィアロ型分生子,
C. 分生子, D. *A. fagi*による培地への青~緑青色の色素滲出.
スケールバー : A = 50 μm . B, C = 10 μm .

図版5. *Tritirachium* sp.

- A. 培養コロニー(表側) 上 : PDA培地, 左下 : MA培地, 右下 : LCA培地,
B. 培養コロニー(裏側) 上 : PDA培地, 左下 : MA培地, 右下 : LCA培地,
C. 分枝した分生子柄およびシンポジオ型分生子, D. 分生子柄およびシン
ポジオ型分生子, E. 葉片縁から出現した分生子柄のジグザグ軸型分生子形
成部位および分生子.
スケールバー : C, E = 50 μm . D = 20 μm .

図版 6. *Periconiella* sp.

- A. 培養コロニー(表側) 上 : PDA培地, 左下 : MA培地, 右下 : LCA培地,
B. 培養コロニー(裏側) 上 : PDA培地(褐色色素産生), 左下 : MA培地, 右
下 : LCA培地, C. 球形分生子, D. 分生子柄、分生子形成細胞および全出芽
型球形分生子, E. 楕円形分生子, F. 分生子柄からシンポジオ形楕円形分
生子.

スケールバー : C, E = 50 μ m. D, F = 20 μ m.

図版 7. *Xylaria* sp.

- A. 培養コロニー(PDA培地表側)、輪紋状の分生子座の形成,
B. 培養コロニー(PDA培地裏側), C. 分生子座、中央より上部周囲に分
生子形成, D. 全出芽型分生子, E. 分生子形成細胞先端部、シンポジオ型分
離痕(矢印) (SEM), F. 基部が截頭となっている倒卵形分生子(SEM).

スケールバー : C = 10 mm. D = 20 μ m. E, F = 5 μ m.

図版 8. *Tubakia dryina*

- A. 培養コロニー(上 : PDA培地、左下 : 1%MA培地、右下 : LCA培地),
B. 分生子殻、周辺部に分生子形成, C. 分生子柄および分生子柄から頂生
した分生子, D. 小分生子, E. 分生子および分生子形成細胞先端部より分生
子形成.

スケールバー : B, C = 20 μ m. D, E = 10 μ m.

図版 9. *Phomopsis* sp.

- A. 培養コロニー(左 : PDA培地、右 : LCA培地)、分生子殻散生, B. 2種類
の分生子(α 胞子と β 胞子), C. 2種類の分生子の拡大, D. 分生子柄および分
生子柄頂部より内生出芽型 α 胞子形成, E. 分生子柄および分生子柄頂部よ
り内生出芽型 β 胞子形成.

スケールバー : B, C, D, E = 10 μ m.

図版10. 小川学術参考保護林内における供試木下のネット内の落葉.

図版11. 小川学術参考保護林内における*M. buna*のブナへの感染試験.

A. ミリシールにより通気性を保ったポリエチレン性透明袋で被覆した供試木小枝上の越冬冬芽(3月), BおよびC. 被覆した供試木小枝内で生育した生葉(6月)および(7月), D. 実験地内に静置した鉢植えのブナ苗(6月).

図版12. *Mycosphaerella buna*を接種した鉢植えのブナ苗.

図版13. 接種2および7日後の*Mycosphaerella buna* (SEM).

A. 子のう胞子のブナ葉上での発芽(接種2日後), B. 孔辺細胞上に密着している子のう胞子の分枝した発芽管(接種7日後), C. 分生子のブナ葉上での発芽(接種2日後), D. 孔辺細胞に密着している分生子の発芽管(接種7日).

スケールバー : A - C = 10 μm . D = 50 μm .

図版14. 接種18および30日後の*Mycosphaerella buna* (SEM).

A. 孔辺細胞に密着した子のう胞子の分枝した発芽管(接種18日後),
B. 孔辺細胞に密着した分生子の分枝した菌糸(接種18日後), C. 孔辺細胞直下の葉内の細胞間隙に存在する菌糸(接種18日後), D. 表皮下細胞間隙に存在する子のう胞子由来の菌糸, E. 表皮下細胞間隙に存在する分生子由来の菌糸(接種30日後).

スケールバー : A - C = 10 μm . D, E = 5 μm .

図版15. 接種90日後の*Mycosphaerella buna*.

A. およびB. 海綿状組織細胞間隙に存在する分枝した子のう胞子由来の菌糸(矢印), C. およびD. 海綿状組織細胞間隙に存在する分枝した分生子由来の菌糸(矢印).

スケールバー : A, B, D = 20 μm . C = 10 μm .